

## 令和5年度貫井図書館「図書館利用者懇談会」

- 1 日時 令和5年10月27日（金） 午前10時00分～午後11時30分
- 2 場所 貫井図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 24名 内ガイドヘルパー1名  
光が丘図書館 1名  
貫井図書館 2名 （貫井図書館長、館長代理1名）
- 4 テーマ 「知の基盤となる情報拠点としての練馬区立図書館サービスについて  
－貫井図書館事業に関連して－」
- 5 配付資料 (1) これからの図書館構想  
(2) 貫井図書館だより  
(3) 美術パスファインダー  
(4) 令和4年度下半期～5年度上半期  
展示まとめ、主な一般向け行事まとめ、  
主な児童・青少年向け行事まとめ
- 6 次第 (1) 貫井図書館長挨拶  
(2) 図書館職員及び参加者自己紹介  
(3) 図書館事業説明および懇談  
①子供たちへのサービス  
②一般、高齢者、障害者サービス  
③その他  
(4) 貫井図書館長挨拶

### 貫井図書館利用者懇談会 会議録

#### 1 貫井図書館長挨拶

本日は「図書館利用者懇談会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

貫井図書館館長です。どうぞよろしく願いいたします。

練馬区立図書館では、読書週間に合わせて、区内12館で利用者の皆様と館長との懇談会を開催しております。今年は「知の基盤となる情報拠点としての練馬区立図書館サービスについて－貫井図書館事業に関連して－」をテーマに懇談会を行いたいと思います。

ぜひたくさんのご意見をお伺いできたらと思っております。

## 2 図書館事業説明および懇談

### (1)「子供たちへのサービス」

#### ◆図書館長より状況報告◆

事業報告および懇談に入ります。今回のテーマが「知の基盤となる情報拠点としての練馬区立図書館サービスについて」となっております。そのあたりを加味しつつご説明をいたします。

**図書館** 今年度、配布させていただきました資料として、「これからの図書館構想概要版」を入れております。練馬区としての図書館の方向性を示すものとして、令和4年に策定されました。ぜひご確認ください。その他は、貫井図書館事業のご紹介を図書館構想のコンセプトに沿ってまとめたものをお配りさせていただいております。昨年度下半期から今年度上半期の事業を振り分けております。児童事業は、コンセプト1から4まで全て振り分けができませんでした。コンセプト1、コンセプト3に分けております。たくさんの施設や団体の方とのご協力で、多くの事業が実施できております。

コンセプト1「世界の知と出会い学びを豊かにする」では、保護者の方の学びを豊かにする時間をとということで「託児サービス」、また「調べる学習コンクール」というものを毎年やっております。探求型学習が注目を集めていますが、今年度貫井図書館では85作品を受け付けました。昨年度の貫井図書館の受付作品の中から全国コンクールで優秀賞・活字文化推進会議賞の受賞者が生まれて、大変嬉しく思っております。7年目に入り、学校の中、地域に浸透して生きているようです。夏休みには、関連するイベントをいくつか実施しております。今年はJALの方に来ていただきまして、折り紙を使って航空力学を学ぼうということで、にぎやかな行事ができました。また、元理化学研究所職員の方に講師になっていただいている科学実験教室を年2回実施しております。文系のイベントが多くなりがちな図書館ですが、毎回とても楽しいと好評です。

中高生などの青少年世代向けには、今年度は、緒方貞子さんの秘書をされていた国連UNHCRの職員の中村さんをお迎えして、緒方貞子さんの人となり、お仕事ぶりなどについてお話いただくイベントを実施しました。

児童サービスのコンセプト3としては、「知が交わり、創造を生み出す」ということになります。たくさんの地域の方々との連携事業を上げさせていただきました。地域子ども家庭支援センター貫井さんと共催の子育て講演会等、中村児童館との出前児童館、さらに、こちらからもたくさんいろいろなところに出向いて出張をしております。近隣の保育園さんや、障害児保育園へレン中村橋さんにも出張いたしました。

それから、貫井中学校や富士見中学・高校の生徒さんによる、小さいお子さん向けのよみきかせなどを実施し、中高生の方の活躍の場として、図書館という場が活用いただき、大変好評となっております。

では、これらの貫井図書館の児童・青少年向けの事業などに関しまして、ご意見をいただければ、と思います。

**利用者** 先ほど調べ学習のことが出ましたが、私はもともと中学校にいましたので、よく総合的な学習の時間などで、学校の図書館では十分ではなくて、地域の図書館に連絡をとって図書を集めて

くださいとお願いするということをしていましたが、そういう要請というのは学校からありますか。

**図書館** 学校からはたくさん団体貸出の要望をいただいております。学校や先生によって温度差はありますが、単元に沿って、お米の事とか食育のこととか、いろいろなテーマで団体貸出をさせていただいたり、または教室に置く学級文庫のための読み物を中心とした本が欲しいというご希望があったりしますので、各学校に団体貸出をしております。その他には、学校の宿題が出たからということで、カウンターに子供達が来ることは日常的にございます。

**利用者** 先日講演会をさせていただいたときに推薦絵本を 90 冊ほど、こちらで取り揃えていただき、ありがとうございました。資料集めの件で伺いたいののですが、板橋区の友人から聞いたのですが、板橋区に本がないときに東京都の方から取り寄せてもらったという話を聞いたのですが、練馬区でもそういうのはありますか？

**図書館** はい、相互貸借という東京都が取りまとめている、足りない本を相互に補完しあうというサービスがございます。ご希望いただければ、お取り寄せいたします。ただ団体貸出ではできません。個人の方のためのサービスということになります。

**利用者** ねりまおはなしの会と貫井図書館で手話付きおはなし会をやったというのがありますが、今日図書館に入ってきた時に、りんごの棚がとても目立つところであって、私も 2019 年に読書バリアフリー法ができたときに、支援が必要な子供達へのサービスというのを今勉強中で、興味があります。りんごの棚が、目立つところにあるというのに感心致しました。手話付きおはなし会について聞きたいのですが、利用者で手話が必要な子供はいたのかなということが聞きたい。

**図書館** ねりまおはなし会さんとのスペシャルおはなし会では、昨年まで 2 回ほど手話通訳の方に来ていただきました。実際に手話が必要な当事者の方はご来館がなかったと思います。ただ、子供達が手話というものを目の前で実際に見るという機会はなかなか無いようで、いらした親子連れの方にはそういった面での関心を持っていただいたようです。そういったところから障害者支援というところに関心がつなげられたらと思って、お呼びしてよかったと思っているところでございます。そのほかに、去年と今年と「みんなで楽しむ朗読会」という名称で掲載しています事業があります。視覚障害の方が奥様で、旦那様が健常者で、劇団を主宰されているというお二人をお招きして、いろいろな形での読書を知っていただきたいということで開催しました。奥様は全盲でいらっしゃるの、点字を読み朗読し、ご主人は墨字の本を読み、会場には UD トークということばを文字にしてスクリーンに話しているものを投影するというものを用意し、手話通訳の方もおよびして、いろいろな形での読書を知っていただきたいということで、2 年ほど続けてイベントをさせていただいています。

**利用者** 私もバリアフリー法に興味と関心があって、ディスレクシア講演会もやっていただいて、徐々に何年前に要望したことをやってくださっていることが感じられて嬉しいなと思っています。特に学校の読書の時間に読み書き困難なお子さんは楽しめないことがあるので、図書館で紙の本でなくても楽しめるんだよという体験を作っておくというのは大変ありがたいと思ってい

ます。

**図書館** ディスレクシア講演会は昨年度のちょうど今頃だったと思います。

**利用者** 図書館ではいろいろなイベントや展示物のコーナーも設けて、ご努力されていることを評価させていただきますが、実際に本を読んでもいただき、イベントなども行われているかと思います。蔵書も何万冊あるかちょっとわかりませんが、読まれていない本もたくさん存在するのではないかな、という中で、一般的には図書館と言うと本の貸出が本来の目的の一番中心にあると思うのですが、そういう中で、今電子図書もこれからの時代になっていく可能性がある中で、本というものがどのような形で、また読書というものがどのような形でおこなっていかれるのか、そのへんわからないので、教えていただけますか。

**図書館** 大変難しい質問です。電子図書あるいはアマゾンのオーディブルなど大変人気ですし、電子図書館もずいぶん広まってきているように思っています。スピードを遅くしたり早くしたり、文字を大きくしたり小さくしたり、自分の読んでいるところがクローズアップされる、文字の色が変わるといようなことは紙ではできないことだと思っていますので、たくさんのいろんな方々にあった読書というものを大きく考えると、いろんな形、電子、タブレットでの読書とかこれからどんどん活用して頂いて、今まで本というものが手に取りづらい方もいらしたと思うのですが、そこにどんどん接点を持てるようなことはとても重要だと思います。また、個人的な考えですが、紙の本というのも無くなるということはないのでないかと思っています。絵本とか、絵があってページをめくってはじめて楽しめるというものもやはり残るのかな、と思っています。そういう中で、図書館って何ができるのか、どういう図書館になっていけばいいのかというのは非常に私では答えきれない難しい問題かと思っています。私たちにできる範囲では、地域の図書館の中で少しでもいろいろな方に読書の楽しみを知っていただけるように、いろんな切り口で情報を提供していくことだと思っています。模索しながらではございますが、頑張っていきたいと思っています。お答えになっていますでしょうか。

**利用者** 読書は人生を豊かにすると言われていいますので、ぜひ今後ご努力頂いて、お教えいただきたい。

## 2) 「一般、高齢者、障害者サービス」

### ◆図書館長より状況報告◆

一般、高齢者、障害者サービスとして、コンセプト1「世界の知と出会い学びを豊かにする」というテーマで実施した事業としては、ディスレクシアについて知るための講演会、ヤングケアラーについて学ぼうという講演会、難民のことを知っていただく映画「戦火のランナー」の上映会など、いろいろ取り組みました。コロナ禍以降 Zoom を使って、図書館流通センターが指定管理を承っている練馬区内5館の図書館を結び、オンラインで開催するようにして、たくさんの方が参加できるよう、また近くの図書館で聞くことができるよう、工夫をいたしました。

その他、出版社トップが語るトークイベントも大人気です。ちひろ美術館、練馬区立美術館、石神井図書館、南田中図書館と貫井図書館で、文化庁の助成金をいただいて「ねりまフォーラム」を結成し、松本猛氏の講演会などを実施しました。

以上のように、いろいろな切り口で、読書、出版、あるいは今知っていただきたい大事なことを、お知らせしていくようなイベントを開催しております。

その他、貫井図書館だよりや、美術パスファインダーなどの発行を行っています。本日お手元にもお配りしております。「世界の知と出会い、学びを豊かにする」ことのお手伝いとなるようなものを発行しております。図書館だよりの配布については、貫井町会、富士見台町会、向山西町会の皆様に回覧板での配布をお願いしております。図書館を知らない方にも知っていただけるようご協力をいただいております。

それから、館内での展示についても、一部ですが、写真をまとめております。いろいろな本との出会いを館内で出会っていただきたいということで、実施しております。

次に、コンセプト2「ねりまの文化を継承・発信する」に関連しては、歴史講座があげられます。地域の歴史の講座は、毎回大変人気です。街かどケアカフェつつじさんには、こちらから出張して、歴史こぼれ話の講座をいたしまして、図書館の地域資料のご紹介をいたしました。また地域資料コーナーで、ずっと商店街のお店の展示をしていましたが、一巡しましたので、去年から地域の施設を知ろうということで、施設紹介をさせていただいています。

コンセプト3「知が交わり、創造を生み出す」としては、たくさんの施設の方々との連携があります。まず、練馬区立美術館の企画展と連動した展示を行い、また学芸員さんと連携してワークショップを実施しております。今年は、夏の植物展と現在の宇川展に関連し、ワークショップを開催いたしました。さらに、ちひろ美術館・東京、練馬区立美術館、石神井図書館、南田中図書館、貫井図書館で連携し、「ねりまフォーラム」という団体をつくり、文化庁の助成金をいただきながら、絵本作家に関する講演会などを実施しております。

その他に地域子ども家庭支援センター貫井さんとの連携事業を行っています。11月には映画の上映会をさせていただきます。

高齢者に対しては、街かどケアカフェつつじへ出張講座、また地域包括支援センターと共催で講座を開催するなどしております。去年は、介護用品の体験会や、睡眠に関する講演会、ペットと高齢化についての講演会もいたしました。

コンセプト4の「情報へのアクセスを支援する」としては、令和5年度7月に地域資料『中むらの昔その2』のデジタル化を実施いたしました。貫井図書館デジタルアーカイブは、コロナ禍になってからアクセス数が伸びております。

4つのコンセプトについての取り組みについてお話いたしました。その他、コンセプトとは少しはなれますが、障害者サービスも貫井図書館の運営の大きな柱として取り組んでおります。毎年バリアフリー映画会を実施しており、今年度も2月に予定しております。8月には「みんなで楽しむ朗読会」を開催し、また近隣の心身障害者福祉センター様やヘレンさんへの出張よみかかせを実施しました。

対面朗読室についても触れさせていただきます。令和4年度は対面朗読回数616回を実施しております。区内で一番たくさん実施しています。ボランティアの皆様のご協力あってと思っております。

これらの取り組みについてのご意見をいただけましたらと思います。

**利用者** 視聴覚室を使った映画会を開催されているようですが、区民が部屋を借りて映画会を開催することはできるでしょうか。設備として、DVDを持ってきて映画会ができるような状況でしょうか。

**図書館** はい。可能です。ただ、細かいことを申し上げますと、視聴覚室を使うためには、団体を作っていたいただくことが必要です。団体の代表者の方と構成員の半数以上が区民であることという要件をクリアして頂いている団体であることが必要です。団体によって有料だったり、減額できたり料金についての条件はさまざまですが、映画会を開催することは可能で、実際開催されたこともございます。機材自体は古いもので、ブルーレイ等は入れられませんが、DVDでしたらプロジェクター投影することは可能です。

**利用者** コンセプト4で情報へのアクセスを支援するというので、ご説明いただき、全体での事業でも、図書館から発信することが多いなというのを感じるところです。地域の施設と連携して、地域の中の図書館として、すごくいいなと思っていますが、個人的に利用するものとして、カウンターでレファレンスをうけるという場所が、貸出と相談と真ん中のところで、簡単にこの本どこにありますかと聞くことはできますが、情報への支援ということでじっくり教えていただきたいときに、その場所がカウンターの真ん中で、他の利用者の方がいたりするので、レファレンスのコーナーというか、ここに行けばという、子供が気軽に聞けたり、大人もなかなか相談がしやすいレファレンスコーナー、相談のところを別につくっていただけないかなと思いました。

**図書館** カウンターを曲がったところに、美術カウンターというものがございます。こちらは美術に関するレファレンスという意味で、美術の本の近くにカウンターを設けております。ただ通路が狭く、常時椅子を出しておけないので、必要な場合にゆっくりお話をするというような場合にはそちらに椅子を出して、対応させていただいております。正面のカウンターの方がご来館の人数が多くて、おっしゃる通りゆっくりお話をしたいような場合にはあわただしくお声がかけづらいということはあるかと思いますが、大変ご来館が多く、貸出も多くなかなか行き届いていないとは思いますが、お声掛けいただきまして、こういったことを調べたいのでゆっくり話を聞いてほしいというようなことがありましたら、そちらにご案内をしております。

**利用者** 声掛けするのに、勇気がいると思うので、なにか掲示があるといいなと思います。

**図書館** わかりました。検討いたします。

**利用者** コロナ禍で視聴覚室が借りやすかったのですが、このあたりに来て借りにくいという感じですね。それで、基本的なことですが、2か月前の申込と3か月前の申込のこの基準、区別を教えてください。

**図書館** 図書館はどこでも同じですが、目的内利用と目的外利用ということで、3か月と2か月を区別しております。目的内利用というのは、図書館としての機能に沿った活動をしている、たとえばよみきかせとか朗読とか、図書館に対するサービスの支援をしていただいている、例えば布の絵本を作っている、音訳資料をつくっていただいている、というような図書館サービスに近い、読書をするということに近い団体さんは、目的内ということにさせていただいています。そうではなくて、一般の方々が、コーラスの練習とかいろいろな方がいらっしゃいますが、図書館というものはちょっと距離がありますので、そういった方々は、2か月前からの申込で、さらに料金的なところでも差ができていますが、目的内と目的外というところが違いでございます。

**利用者** 今日建て替えのことでいらしたという方もいると思いますが、私が一つ心配なのはこの貫井図書館の強みって、駅から近くて、しかも1階のフロアに図書館があるということなんです。これが2階とか3階とかね、分散してしまったときにはいろいろなことはありますが、レファレンスの問題なんかも、さっき子供が夏休みの宿題などでこられた、というときに、個別の対応が各階ごとにされるんだろかというようなことがいろいろ不安で、できれば1階に集中してほしいなという思いがあるのですが、いかがでしょうか。

**光が丘図書館** 貴重なご意見ありがとうございます。ただいま貫井図書館は設計をしている最中で、詳しいことはまだお話できないのですが、今頂いたレファレンス、カウンターのことなどを踏まえて設計を進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

**図書館** 視聴覚室の補足ですが、コロナの前も今ぐらいの使用率がありまして、コロナ禍がおさまってきていて、ここ半年くらいものすごい受付でございまして、なにしろ1部屋しかございませんので、よろしく願いいたします。

**利用者** それに関連して、先日視聴覚室の申込をしたのですが、その数分後に、やはりとれていませんでしたという残念な電話がかかってきていまして、同時に受けているということでしょうか。

**図書館** 貫井図書館の外線は2回線ございまして、視聴覚室の申込受付開始の朝9時はものすごくコールセンターみたいな感じになっております。なので、2回線同時に鳴って、2人のスタッフが出て、ごくまれですが、全く同じ日の同じ時間を受けてしまって、どうしようということになったのかと思います。どっちが先に電話を取ったのか、そのあたりで、大変申し訳ございませんがそういったお電話をすることになったのかと思います。カウンターでの申込もありますので、受付の順番ということになります。月初は争奪戦となっております。

**利用者** 映画会のことで伺いたい。合同企画で映画会をされると思いますが、私たち区民にとっては、全部区立図書館なんです。なんで光が丘は入っていないのか、ここでやらないのかとか、という感覚があるのですが、会社を超えて、他の館にまで呼びかけるということではできないのでしょうか。今のところ難しいのでしょうか。

**図書館** 調べる学習コンクールは他の会社さんも入ってやっておりますので、今後の課題と思います。前向きに考えたいと思います。イベントによっては、練馬区の他の部署、地域医療課とか図書館でこういったことがやりたいということで、光が丘図書館が取りまとめて、やりたいところはありますか？ということで、直営、指定管理、会社の垣根を越えて実施しております。

**光が丘図書館** 貴重なご意見ありがとうございます。本来はご利用される方からすると、どこの館でもそういった映画会とかに参加できるというのがあるべき姿であると思いますので、区の方でも検討していきたいと思っております。

**利用者** 会議室の取り合いのことですが、これもひとえに会議室が1つしかないからであると思っております。区の方にぜひ今設計中であるので反映できるということでございまして、会議室は2個以上新しい図書館には作っていただきたいと思っております。20年位前には会議室は、2つ使えたわけなんです。隣にあるお部屋、これは今は美術館の倉庫となっていて会議室としては使えなくな

ってしまった。ということで、前は文庫連絡会で学習会などをするときには、こちらの会議室は保育室として2つ押さえて保育の方をおよびして、小さいお子さんをお持ちのお母さんにも学習会に参加していただけたんですが、最近は保育室がないので、お断りするケースもあるんですね。というわけなので、そういうことを考慮して会議室をたくさん作っていただければと思います。

**光が丘図書館** ありがとうございます。基本的はやはり現在行われている図書館の機能をまずは低下させないように、というところを基本として、再整備の方を進めていますので、会議室の方もそういったところを踏まえて検討いたします。

**利用者** ブックスタート事業をやっております。コロナ禍が明けてからもお母さま方は参加してくださって、すごくほっとするひとときをすごしていますということで笑顔で帰っていかれるんですね。ブックスタートということで、本をお渡しする事業なんですが、図書館も核家族化の中で、頼るところがあまりないような状況の中で、すごく大事な場所になっているなど感じています。ぬくぬくベビーおはなし会も結構お母さま方が、常連として参加して下さっているんですね。そういう場所が、なくならないような図書館の改築を強く望んでいます。よろしく願いいたします。

## 2)「その他」

今までのお話の枠組みに入らないことで、なにかご質問やご要望がありますでしょうか。

**利用者** 再整備のお話があったときに、図書館が美術館のカタログとか資料とかその辺を一括して請け負うみたいな話が美術館の館長のインタビューに残っていて、図書館の予算で、美術館の文書関係を全部引き受けるとするのは、ちょっと過酷、図書館にとってはあまり負荷が大きすぎる気持ちを持っています。その辺あまり予算が流れないように独立性をしっかり保ってもらいたいと思います。

**光が丘図書館** ありがとうございます。今頂いたお話は、美術館の再整備の基本構想とか、今日お配りしている図書館構想にも記載があるところですが、再整備にあたっては、美術館と貫井図書館の融合が最大のコンセプトであります。美術館と図書館が融合していく中で、美術館さんが今保管している書籍などもありますので、それをどういった形で管理するかというのも今検討しているところではありますので、今頂いたご意見も踏まえてですね、これから検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

**利用者** 素朴な疑問なんですが、現在においては美術書関係の書籍の購入の経費は美術館が負担しているのか、貫井図書館が負担しているのですか。

**図書館** 現在は、すべて予算は別になっております。ですので、美術書であっても、図書館の予算で購入しています。ただ唯一、美術館さんの企画展の図録は2冊ずつご寄贈いただいております。

**利用者** 今日参加の方も団体貸出をなさっている方もたくさんいらっしゃるのですが、個人で借りる時には、パソコンで検索したりして借りれますけど、団体貸出はそれができないのです。それが



できたら便利だなというも思うのですが、それができない理由があれば教えていただきたい。

**図書館** 団体貸出というのは学校、保育園、幼稚園さんから要望をいただいて、こういう本を何冊、何日までにほしいという形でスタートしたのだと思います。今、学校関係や保育園関係ではない団体さんがたいへん増えておまして、最初にスタートした際には、想定していなかったと思っています。団体貸出については内部的には、細かくいろいろ制限があります。団体さんからのご要望であっても、予約が入っている中に、割り込むことはできませんし、予約がついているものは外していただいたりしています。また練馬区に例えば4冊ある本をすべて団体の方が借りてしまうと区民の方へ提供できるものがなくなるというような細かい内規がございます。そういったときには、どうする、このように対応するというような、そのあたりの団体貸出の細かいルールがありまして、ネットからの予約ですべて受けてしまうと混乱するところがあるので、そのように決められているのではないかと思います。ご面倒ではありますが、カウンターにおもちゃいいただいて、リストでいただくというのが、一番ありがたいかなと思っています。

**利用者** よく大型絵本を使わせていただいているんですけど、大型絵本を借りる時に、本番でない借りられないということがあり、私たちみんなですべてできるだけ上手によみきかせたいということがあって、リハーサルの際にもぜひ貸してもらえたいわけにはいかないでしょうか。

**図書館** その点について、一昨年ぐらいから内部で話題にのぼったところではありますが、2週間という貸出期間の中で、練習して頂いて、リハーサルもしていただいて、本番を迎えていただくということをお願いしています。同じサイズではないですが、底本になっている絵本は区内にたくさんございますのでそちらで、まずは練習して頂き、大きなサイズに対する練習というのは、お貸出期間の2週間の中でお願いしたいということが区としての回答でございます。ご協力をよろしくお願いいたします。

**利用者** 私たちは、視聴覚室を朝9時から4時まで借りて、午前と午後によみきかせをするという会なんです。その中でリハーサルもやるということになって、これは食事の問題なんですが、図書館というところは難しいとは当然わかっていますが、今後の新しい図書館に対して、そういうことも含めてどこか軽食をちょっと簡単にできるようなことを考えてほしい。むずかしいですかね。もちろん外にでて食べて戻るということは一生懸命やるんですが、お天気のいい日は外でいいですが、雨の日には行って帰って45分しかなくて、もう高齢者なので、大変なこともあるので、どっか一角でもちょっと簡単に、近くにそういう場所もあればほんとうにいいなと思うんですが。総合的なところで、考えてもらうことはできないでしょうか。

**図書館** ご迷惑をおかけいたします。閲覧席とここのお部屋は、飲み物は差し支えないですが、食べることはご遠慮いただいております。コロナ以前はこちらの廊下のソファのところは軽食など召し上がることは可能というふうにさせていただいておりました。コロナの関係で、館内での食事はマスクをはずすため、食事をとることはやめていただくようにということで、今全館で召しあがっていただくことはできないようお願いをしております。今後、ご要望がございましたと今回区へ上げますので、そうするとそのソファのところ、皆さん一緒とはいかないかもしれませんが、交代で軽食程度でしたら、召し上がっていただくと、コロナ以前の形に戻すというこ

とになりましたら可能かと思えます。中村橋地域包括支援センターのまちかどケアカフェのところではお食事をとってもいいというコーナーがありまして、よそ様のところのご紹介を今いらっしゃらないのにするのは心苦しいですが、そちらに行っていていただいて召し上がるということは可能かと思えます。

**利用者** そちらは残念ながら、改修が来年度はあるということで、使えなくなってしまうのです。ということで飲食できるというスペースをこれから作ってくださいということで。日曜日には、ケアカフェもお休みで使えません。

**図書館** こちらのソファについては、全館の共通の対応ということになっていきますので、そういったご要望があるということはあげさせていただきます。

**利用者** 中がどうしてもだめなものでしたら、外側の軒下を長くして、雨の時でも外の空気のところで食べられるような空間を作っていただくとかなにか、工夫ができるのではないかと。

## 5. おわりの挨拶

お時間が来てお帰りになってしまわれた方もいらっしゃいますので、ここで終了ということにさせていただきます。ほんとうにいろいろな貴重なご意見いただきまして、こちらでも行き届いていなかったなというところをたくさん今日はいただくことができました。ありがとうございます。

今後はそれらを踏まえて、いろいろな運営に活かして良い運営にしていきたいと思っております。ありがとうございます。

アンケートのご記入をいただきまして、お椅子のところに置いていただけますようお願いいたします。それでは、貫井図書館の利用者懇談会は以上で終了とさせていただきます。

※帰り際、「視聴覚室の利用申込書の記入する場所が多くて、時間がかかるので書式の簡略化をお願いしたい」というお声掛けをいただきました。